

17th International Conference on Precision Engineering (ICPE2018)

公益社団法人 精密工学会
東京農工大学 大学院工学研究院 先端機械システム部門
教授 笹原 弘之
(平成 29 年度 国際会議等開催準備助成 AF-2017247)

キーワード：精密加工，精密計測，生産システム

1. 開催日時

平成 30 年 11 月 12 日(月)～平成 30 年 11 月 16 日(金)

2. 開催場所

鎌倉プリンスホテル (神奈川県鎌倉市七里ガ浜東 1-2-18)

3. 国際会議報告

本国際会議は、公益社団法人精密工学会によって主催され、精密加工，精密計測，生産システムや制御ならびに設計などのものづくり分野を幅広く対象とし，国内外の研究者および技術者が研究発表および質疑応答を通じて交流することで，最先端技術の情報交換および技術者間国際ネットワークの構築などを主目的としている。さらに国際会議参加者，特に大学院生を含む次世代を担う若手技術者に対して，国内外の専門家による研究成果を知り，また交流する機会を提供することで早期に国際的な視野を与え，ものづくり産業の将来に渡る継続的な発展へと寄与することも目指している。

1974 年に第 1 回精密工学に関する国際会議として開催され，17 回目を迎え今回は第 29 回日本国際工作機械見本市の直後に鎌倉プリンスホテルで開催し，ドイツ，イギリス，フランス，スウェーデン，中国，台湾，シンガポールなど 10 カ国より 295 名が参加して，学術界及び産業界から最新の研究成果が発表された。

以下に主なイベントについて報告する。

3. 1 ウェルカムレセプション

国際会議初日の 11 月 12 日(月)夕方に，研究発表会場と同じ鎌倉プリンスホテルのバンケットルームで開催した。本国際会議実行委員長をはじめとした多くの参加者が集い，本会議の盛会を祈念するとともに，旧交を温めた。また，実行委員および基調講演の講演者で最終の打合せを行った。

3. 2 オープニングセレモニー

一般研究発表が開始される 2 日目の 11 月 13 日(火)午前には，オープニングセレモニーを開催した。図 1 にその様子を示す。実行委員長及び精密工学会会長から，国際会議の開催宣言，参加者への謝辞などが述べられた。

3. 3 基調講演

11 月 13 日(火)および 14 日(水)に，4 件の基調講演を実施した。上智大学の清水伸二名誉教授，Pusan National University の Haedo Jeong 教授，産業技術総合研究所の辻井潤一氏，



図 1 オープニングセミナーの様子

HEIDENHAIN GmbH の Jan Braasch 氏から基調講演を頂いた。講演者は，それぞれ工作機械技術，化学的機械研磨 (CMP)，人工知能とロボット，制御技術に関わる世界的な第一人者であり，聴講者から多くの質問も出て，有意義な基調講演となった。

3. 4 一般研究発表

11 月 13 日(火)から 15 日(木)の 3 日間は，研究テーマごとに 13 のセッションで構成された，200 の一般研究発表が 4 室並行で実施された。質疑応答の時間には，最新の研究成果に対して，活発な議論が交わされた。

3. 5 カンファレンスディナー

11 月 14 日(水)夜には参加者同士の交流を目的としたカンファレンスディナーを開催し，相互に親睦を深める機会を提供した。研究発表や質疑応答の時間不足の解消，発表以外の研究テーマの情報交換，その他関連する技術に関する意見交換を通じて参加者間の交流が促進された。また，発表された講演論文の中から 9 件の Best paper 賞と 10 件の Young researcher 賞の表彰式が執り行われた，さらに，日本の伝統音楽である津軽三味線が披露され，特に海外からの参加者に日本文化の一端を紹介した。

3. 6 工場見学

最終日となる 5 日目の 16 日(金)には，工作機械のトップメーカーの 1 つである牧野フライス製作所と，制御装置とロボットの世界的メーカーであるファナックの工場を訪問し，実際のものづくりの現場を見学する貴重な機会を参加者へ提供した。

謝 辞

本国際会議は，公益財団法人天田財団からの国際会議等開催準備助成(AF-2017247)を受けて実施したことを付記すると共に，記して深甚なる謝意を表す。